

2022 年 3 月 31 日

SBI ビジネス・イノベーター株式会社

SBI ビジネス・イノベーター（株）が日本女子経営大学院と 地銀向け Web イベントを開催

～地方創生・組織活性の理念と実利追及をつなぐサステナブルファイナンスと
D&I の実践法に関するオンラインイベントを開催します～



SBI ビジネス・イノベーター株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役：岩吉 直樹）は、2022 年 4 月 13 日に日本女子経営機構（日本女子経営大学院）（本社：東京都港区、代表理事：河北 隆子）と共催のもと、地方銀行とその顧客向けに、サステナビリティ Web イベントを開催します。

お申し込みはこちら→<https://onl.bz/b2cffK9>

SBI ビジネス・イノベーター株式会社は、営業提携をしている日本女子経営機構（日本女子経営大学院）が企画するイベントに共催致します。日本初の女性管理職向けビジネススクールを設立した日本女子経営大学院は、かねてよりダイバーシティ推進のための様々な取り組みを行っており、この度、持続可能な経済と社会を実現するために「サステナビリティ Web イベント」を開催することになりました。本イベントは、日本全国の地方銀行と企業を対象としており、参加利便性の向上のためオンラインで行われます。

◆開催の背景

「サステナブルな社会と経済を実現する」ことは、世界的に重要課題となってきました。日本では、気候変動などの環境問題を、経済や金融と関連付けて発想する視点がやや希薄でありましたが、昨今の度重なる大災害の経験により、環境問題がいかに経済、金融と繋がり、どのように影響を創り出すか、肌感覚として認識できるようになりました。

サステナブル・ファイナンスとは、環境や社会課題解決の促進を金融面から誘導する効果的な手法や活動です。いま、地方銀行（以下、「地銀」）にもおいて顧客である地元企業へのサステナビリティ視点の更なる支援意識と行動の変化が求められています。

また、提携先の日本女子経営機構（日本女子経営大学院）が目標に掲げており、日本企業の喫緊の課題でもある「ダイバーシティを活かしあい企業のイノベーションを創造し社会に貢献する」「サステナブルな社会と経済を実現するための組織における経済再生」のカギは、DX（デジタル化による変革）、イノベーション（技術革新）、組織と人の能力の向上の3つが挙げられます。

人と組織の成果と成長が循環し、生き生きと活性化し価値創造するためには、地方銀行におけるダイバーシティ推進（女性活躍推進含む）の加速化が必要不可欠です。日本の底力となりうる地方創生を実現するためには「地銀」の活躍は欠かせません。「地銀」だからこそ作れる未来があります。

第1回目にあたる当イベントでは、サステナブル・ファイナンス牽引者である高田 英樹氏。そして、ダイバーシティ推進に取り組む各地方銀行のご担当者をお迎えし、共に語り、考える場をご提供致します。地方銀行の顧客である地元企業へのサステナビリティ視点の支援等についても具体的に考える機会とすることが出来れば幸いです。

一過性な取り組みではない地方創生を実現するために、気候変動分野での金融機関の取り組みを支援するためサステナブル・ファイナンス。それを現実化するためのダイバーシティな組織づくりの知見を両輪で捉えることで、地方銀行の方々のお役に立てると考えました。これらを両輪で学び、いかに生かしていくか。講演とライブセッションからそのヒントを掴んでいただければ幸いです。

◆開催概要

本イベントは分科会を含んだパネルディスカッション、懇親会の構成で行います。

第1部は、Green Finance Network Japan 事務局長高田 英樹氏（金融庁総合政策局総合政策課長／財務省主計局主計官）をお招きし、今もっとも求められるサステナブル・ファイナンスについてお話しいただきます。英国財務省やOECDでご経験された日本とは異なる多様なバ

ックグラウンドでの組織での勤務経験や、サステナブル・ファイナンスにおけるストーリーとその必要性、現状の取り組みなど今と未来に向けて、お話頂きます。

第2部は、各地方銀行の女性リーダーである、株式会社中国銀行 坂口有美子氏、株式会社広島銀行 木下麻子氏、株式会社群馬銀行 坂本真穂氏の3名をお迎えし、セッションを進めてゆきます。夫々の銀行におけるダイバーシティ、女性活躍推進における多彩な取り組み事例と共に、自ら女性リーダーとしての働き方、キャリアやリーダーシップのあり方など具体的にお話しいたします。分科会では時間の許す限り、質疑応答による学びの共有と交流の輪を広げます。懇親会には登壇者も参加予定です。

オンラインとはなりますが、豪華な登壇者と共に時間の許す限り、インタラクティブでライブな場を体感いただきながら、持続可能な経済と社会を実現するための～サステナブル・ファイナンスと女性活躍推進についてお伝えします。

◆登壇者

【セッション1】



金融庁総合政策局総合政策課長/

財務省主計局主計官/Green Finance Network Japan 事務局長

高田英樹氏

1972年生まれ、1995年大蔵省（現財務省）入省。以後、主計局、主税局、大臣官房等、多様な政策分野を歴任。1997～99年、英国留学。2003～06年、英国財務省に出向し、英国の金融行政や予算編成に携わる。2009年、民主党政権下で新設された、内閣官房国家戦略室の最初のスタッフに抜擢。2012～15年、大臣官房文書課法令審査室長・調査室長・広報室長。財務省及び霞が関の働き方改革・女性活躍推進にも携わる。2015～18年、パリ・OECD（経済協力開発機構）に出向し、グリーン・ファイナンス（環境金融）を担当。帰国後、日本の官民のグリーン・ファイナンス関係者の連携、海外関係者との協働に向けたプラットフォームとして、Green Finance Network Japanを発足。本業の傍ら、私的にグリーン・ファイナンスに関する活動が続けている。2021年3月、新設された内閣官房気候変動対策推進室の総括参事官として、同室の立上げや官邸における有識者会議の運営を担う。2021年7月、財務省に戻り、主計局主計官（総務省・地方財政担当）に就任。2022年1月、兼務として、金融庁総合政策局総合政策課長に就任し、サステナブル・ファイナンスの推進を含む、金融庁の諸政策の企画・調整を担当。東京大学法学部卒、ケンブリッジ大学法律学修士、ロンドン大学（インペリアル・カレッジ・ロンドン）経営学修士

【セッション2】



株式会社中国銀行 倉敷駅前支店 支店長

坂口 有美子氏

1971年広島県生まれ。1991年、「地域限定総合職」として中国銀行福山胡町支店へ入行。2004年福山東支店支店長代理へ昇進と同時期に結婚・出産など自身のライフイベントを経験。その後リテール店舗の支店長を2か店経験する中、女性活躍推進ワーキンググループの立ち上げメンバーに手を挙げ、第1期のメンバーとして活躍。当グループでは、現場目線で数々の提言を行い、「時間単位有給休暇制度」等各種施策へと反映させた。この活動の中では社内のダイバーシティ推進に対する課題を肌で感じる事となる。2018年、「総合職」へ転換。同年、当行初の女性本部室長としてNEXT10推進室へ配属。NEXT10推進室では、常に次の10年を見据え、CS・ES・ダイバーシティ・「ちゅうぎんの心」を一元的に統括し、頭取直轄の部署として各種施策の立案、推進を行っている。特にダイバーシティ推進は「組織内の多様性を受け入れ、その能力や個性を企業経営に結びつけ、企業を成長、進化させること」を基本的な考え方としている。現在は倉敷駅前支店で女性フルバンキング支店長として勤務。

(総貸出金 618億 総預金 1,961億円) プライベートでは、2児の母親として、PTA役員や子供のスポーツ遠征引率など、趣味は学生時代から続けているバドミントン。「ワークライフインテグレーション」をモットーに公私にわたり活動中



株式会社広島銀行 人事総務部 担当課長/

ひろぎんホールディングス 経営管理部 人事総務グループ

木下麻子氏

大学卒業後、2001年に(株)リクルートに入社。法人営業、商品企画・営業企画を経て、人事教育グループのマネージャーとして人材育成・ダイバーシティ推進の責任者を務める。2016年に東京から広島に移住し、(株)広島銀行に中途入社。人事制度企画・労務管理・女性活躍推進等の業務を担当し、現在は広島銀行およびひろぎんホールディングス全体のダイバーシティ推進・採用活動を担う。「一人ひとりが真の自分とつながり、他者の個性を尊び、共に愉しく働ける世の中を創る」ことをモットーに、既存の枠組みへのチャレンジを続けている。



株式会社群馬銀行 人事部人材開発室

坂本真穂氏

大学を卒業後、2014年に総合職として群馬銀行に入行。太田中央支店、桐生南支店、桐生支店を経て現在人事部に所属。営業店時代は、個人・法人ともに担当し、融資業務から預かり資産業務、コンサルティング業務等幅広く経験した。様々な業種の方、世代の方とより近く接することができ、お客さまの生活や夢、人生を支えることができることにやりがいを感じていた。人事部では、営業店での経験を生かしながら研修の企画・運営を通じて、人材育成に注力している。また、女性活躍促進チーム「L-NEXT」の運営もしており、一人ひとりが生き生きと働ける職場となるよう日々取り組んでいる。「想いを形にする」「存在感を出す」「やるからには良いものを」をモットーにしている。趣味は、自分磨きと人との交流。仕事もプライベートも充実するよう、アクティブな毎日を送っている。

◆ファシリテーター



日本女子経営大学院 代表理事・学長

河北隆子氏

コクヨ（株）管理部、マンパワージャパン（株）マーケティングサービス事業部を経て、組織コンサルタントとして独立、トヨタ自動車（株）販売チャンネル変革のブランド浸透・教育プログラム開発、及び展開コアパートナーとして7年従事。人と組織のイノベーション、リーダーシップ開発、定着化を得意とするイノベーションアソシエイツ社を2003年創業。12年間の代表取締役後、ファウンダー。その後、日本初、女性リーダーを養成するビジネススクール日本女子経営大学院を2015年1月に創立し、代表理事、学長に就任、現在に至る。尚、SBI ビジネスサポート株式会社 わたし・みらい・創造センター（企業教育総合研究所）シニアマネージャーとしても活動し、領域を広げている。我が国喫緊の経営課題である、多様化推進、女性活躍加速化、次世代リーダー育成の後続する仕組みとしてのビジネススクールの開講と、企業全体への組織開発・理念浸透・研修プログラム支援などバランスさせつつ、レバレッジの効いたご提案とその成果には高評価を得ている。子育て、起業、介護を経験。ビジネスや社会問題など、垣根をこえ活躍する“イノベーションを創出するリーダー育成”に新たに意欲を燃やしている。

◆お申し込み方法

以下 URL からお申し込みください。

<https://onl.bz/b2cffK9>

○報道関係者の方へ

最先端で活動されている高田氏からサステナブル・ファイナンスの知見を頂き、そして現在進行形でD&Iな組織づくりを実践されている坂口氏・木下氏・坂本氏からは、地力のある組織づくりのご経験やご自身のキャリアやリーダーシップをお話しいたします。本イベントは持続可能な地方創生のために必要な「両輪」を取り入れ、現場で活かして頂くための活動です。日本の地方文化、地方経済を守る一助となれると考えておりますので、多くの地方銀行関係者に届くよう、ご協力頂けましたら幸いです。

以上

本プレスリリースのお問い合わせ先

SBI ビジネス・イノベーター株式会社 加井 海野 03-6863-7371